



鳥取夏まつり文化体験

しゃんしゃん傘踊り

研修旅行プログラム

プログラム提供: ちゃれきんぐ株式会社

しゃんしゃん傘踊りとは



- 昭和36年に商工振興を目的に聖神社、大森神社の例祭と併せて誕生した「鳥取祭」は、市中パレードが主であったため、市民が参加する機会が少なく盛り上がりが見られませんでした。
- そこで、鳥取県東部地方に古くから伝わる「因幡の傘踊り」を誰でも簡単に踊れるようにアレンジして、大衆化することを考えました。
- 当時の高田勇鳥取市長は、横枕地区の高山柳蔵氏に依頼して、現在の「きなんせ節」の振付を完成させ、昭和39年の鳥取市庁舎新築落成を記念して、この新作傘踊りを発表しました。
- 昭和40年の祭りからこの踊りを取り入れることになり、祭りの名称を広く募集したところ、山脇豪・藤井愼夫両氏の「しゃんしゃん祭」が選ばれました。
- 「しゃんしゃん」とは、市街地の温泉で「湯がしゃんしゃん沸く」と「鈴の音がしゃんしゃん鳴る」という意味で名付けられました。

文化体験プログラム

概要

鳥取市の文化体験としてしゃんしゃん傘踊りの体験を提供します。

所要時間は最大で90分間です。

踊りを練習した後、音楽に合わせて一斉に踊り、学年またはチームの団結感や一体感を高めていきます。

しゃんしゃん傘踊りの基本的な踊りを「基本踊り」といいます。「基本踊り」に「一番踊り」と「二番踊り」の二種類があります。文化体験では、どちらか一つの踊りを体験していただきます。

実施方法

晴天時

適応人数10名から300名程度

鳥取砂丘で傘踊りの練習をします。

踊りの練習をした後、音楽に合わせて一齐に踊りを体験します。

鳥取砂丘をバックに傘踊りを踊る風景はとても迫力のある様子としてとても思い出に残ること間違いなしです。

雨天時

適応人数10名から200名程度

TRAMBOUL(ちゃれきんぐ株式会社)で傘踊りの練習をします。

3~4班に分かれ、傘踊り、トランポリン、ボルダリング、VRでのアクティビティー疑似体験等を室内で行います。

人数によっては、傘踊りだけを行うこともできます。



実施場所

雨の日はTRAMBOUL(トラボル)



ありがとうございます



間屋口 貴仁



岡田 亨貴

www.kodomo-sports.com/



080-6265-1026



info@tramboul.com